

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

女川町災害廃棄物却処理の説明会に参加 「住民が住んでいる八潮団地内を測定して」と発言

12月13日に八潮学園で宮城県女川町の災害廃棄物処理についての説明会があり、東京都環境局、23区清掃一部事務組合と品川区が説明しました。会場のランチルームは大勢の参加者でいっぱいになり、次々に質問がありました。

八潮団地を
測るのは
当然です



がれき受け入れの経過

今年3月の大震災によるがれきは宮城県女川町だけでも44万トン。

東京都が処理を受け入れると発表し、11月15日の23区区長会で受け入れを確認。11月24日には都と女川町、区長会が基本合意を締結しました。その後、品川清掃工場で12月20～21日に試験焼却、来年には都内の各清掃工場で本格的な焼却になります。

この問題の説明会を12月13日に八潮一貫校で行われ、大勢の方が発言しました。

南も参加しました。

品川清掃工場で試験焼却するにあたって放射能測定は八潮団地内を

女川町から輸送される災害廃棄物はまず試験焼却をしました。大田清掃工場は12月13～14日に、品川清掃工場は20～21日でした。

本格的な焼却(10万トン)は来年2月～平成25年3月までの間で都内17ヶ所の清掃工場で行います。

この説明会で、試験焼却を実施するに当たって、放射能の空間線量を清掃工場敷地内4ヶ所で実施すると説明がありました。南は工場の敷地内より、住民が住んでいる八潮団地内でこそ測るべきではないかと質問しました。

ところが、区の都市環境事業部長は「密封して輸送されるので必要ない」と答弁。住民の不安に応えようという姿勢がありません。

参加していた方たちから「今の答弁はおかしい。きちんと測定するべきです。」とか「測定する費用はそれほどかからないはず。なぜやらないというのか。」という発言が出ましたが、区は同じことを繰り返すだけでした。

説明会終了後、ある女性は「説明会にきたけど、ストレスになった」と南に話しかけてきました。よく聞くと、部長発言の『高額』測定器を購入したという部分にストレスを感じたというのです。「わたしたちの税金で買ったのに、わたしたちの要望を聞こうとせず、『高額』を強調している。何でそんな言い方になるの？ 考えたかがおかしい」というのです。最もな発言だと思いました。南はそういう角度で部長発言

を追及しなかったことを恥ずかしく思いました。「もっとしっかりしてよ」と言いたげな視線を感じました。今後の教訓にします。

品川区環境課、住民のみなさんと一緒に八潮団地内の放射能を測定しました

12月21日、八潮団地内を区の環境課のみなさんと一緒に放射能測定をしました。

10月19日、12月13日に測定したときに比較的高い数値の出たわらべ橋のたもとと、橋下の雨水管周辺を環境課に伝え、一緒に測定することになったものです。

下の表は、環境課の測定も含めて3回の測定数値を示しました。除染後の数値も示しましたが、除染後はやはり数値が下がっていることがわかります。



12月21日、わらべ橋たもとで環境課が測定後、除染している場面



10月19日に住民と共にわらべ橋たもとを測定した場面

わらべ橋	たもと地上5cm	たもと地上1m	橋下地上5cm	橋下地上1m
10月19日	0.391 $\mu\text{s/h}$	0.105 $\mu\text{s/h}$	0.465 $\mu\text{s/h}$	0.120 $\mu\text{s/h}$
12月13日	0.357 $\mu\text{s/h}$	0.122 $\mu\text{s/h}$	0.570 $\mu\text{s/h}$	0.130 $\mu\text{s/h}$
12月21日	0.470 $\mu\text{s/h}$			
除染後	0.15 $\mu\text{s/h}$			

生活・雇用・子育てだて・教育など何でもお気軽にご相談ください
 連絡先 南恵子区議会議員 電話(3790)1523